



作成日：2023年11月5日

SON×芸術花火 ～地域の人と交流しながら花火をみよう！～

-大阪湾りんくう芸術花火 2023-



スペシャルオリンピックス日本（SON）・和歌山のアスリートが、「SON×芸術花火～地域の人と交流しながら花火をみよう！～」のイベントに参加しました。本イベントは、「大阪湾りんくう芸術花火 2023」観賞、そして地域の方々とともに会場のお手伝いをするイベントとして実施しました。花火大会を通して、地域の人たちと交流しながら楽しい時間を共有すること、また会場のお手伝いにも参加することで交流を促し、お互いの相互理解の機会とすることを目的に SON・地区組織と連携した「Be with all 事業」として行いました。

- 日時：2023年11月4日（土）
- 場所：大阪湾りんくう芸術花火 特設会場（大阪府泉佐野市りんくう往来南 7-1）
- 実施内容：1.開始式
 - 企画の趣旨、目的の説明
 - 自己紹介
 - 小塚崇彦様や参加者との交流
- 2.花火観賞
- 3.ボランティア活動（会場片付け、清掃等）
- 参加者数：合計 11 名
 - 【参加者】SON・和歌山 アスリート・ファミリー：8 名／SON・和歌山 スタッフ：2 名／小塚崇彦様
- サイト：<https://osaka.artfireworks.jp/>



イベント内容

『開始式（自己紹介等）』

当日、アスリートたちは、SON ドリームサポーター小塚様にお会いするのを楽しみにしておりました。スタッフの一人として参加され、てきぱきと指示を出され、アスリートたちにも当日の流れをわかりやすく説明してくださり、この企画がお互いの相互理解につながる機会が目的だということなど、ご自身が芸術花火のアンバサダーをされていることで、今までの経緯を聞かせていただきました。また、FM ラジオにて会場全体に放送される内容も、スペシャルオリンピックスのお話をされていました。小塚様から皆さんと一緒に記念写真を撮りましょうと言われ、冬季ナショナルゲーム大会に出場するアスリート一人ひとりに励ましのお言葉もかけていただきました。僕も大会で待っているからねと言われ、きっとアスリートたちも力強く感じたことだと思います。他のスタッフの方々とも交流でき、至福の時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。



『花火鑑賞』

花火直前に小塚さんや今回の花火の演出家の方とお話させていただき、みな花火への期待感 MAX で招待席に向かいました。最初の花火があがるとアスリートもファミリーも「うお～、おおきい～、きれい～」あとは次々あがる花火に見入ってしまいました。「すごい！」「おお～！」コロナ禍以来、久しぶりに見る花火に感動しきりの息子でした。音楽に合わせて多くの花火が打ちあがり、とても美しかったです。花火を楽しむとともに息子の喜ぶ姿を見ることができて、ファミリーの私もうれしい気持ちになりました。あんな大規模な花火人生初なくらいすごいものを見せてもらいました。一時間花火があがりっぱなしにもびっくりしました。息子は帰りの電車の中でも花火の写真を楽しそうに見返していました。





『ボランティア活動（会場片付け、清掃等）』

素晴らしい花火の興奮冷めやらぬままみんなこの感動のお礼にどんなお仕事でもさせていただきますという意気込みでボランティア担当の方に仕事内容を教えてもらいました。みんな花火のおかげで心も体もウキウキしながら椅子のシール剥がしに取り掛かりました。ところが、息ぴったり、手際よく協力し、あっという間に終わってしまい、担当者さんをびっくりさせるくらいでした。もっとお仕事したいという声がいっぱい。そこで今度はニッパーを使って椅子と椅子を結び付けている結束バンドを切っていくという少し難しいお仕事があたえられました。初めてニッパーを使うアスリートたち。夜ということもあり、手元も見えにくく、力も要ります。それでもアスリートたち、教えてもらいながら最後まで頑張りました。コーチもファミリーもできないと決めつけずに新しいことにチャレンジさせていくことの大切さをあらためて感じました。このような機会を作っていただきありがとうございました。



アスリートの感想

■丸谷 結人さん

・小塚さんとの交流の感想

初めて本物の小塚さんと会ってドキドキしました。みんなで、沢山写真を撮ってもらい、楽しかったです。ナショナルゲームに行くことも報告しました。名刺ももらってしまいました。

・花火の感想

見たことない程、すごい近くで、お腹に響く程の迫力のある花火を見ました。横に流れたり、真上に大きく上がったり、びっくりする事がいっぱいでした。写真を、いっぱい撮りました。

・ボランティアの感想

椅子の一つ一つに座席番号シールが貼っていて、それをはがす事と、椅子と椅子が連結されていて、結束バンドを切っていく事がお仕事でした。みんなで一生懸命頑張り、仕上がりの速さに担当の方に誉めてもらいました。楽しかったです。また、次も、参加したいです。



■岡畑 勇輝さん

ぼくは、はじめてりんくうの花火をみました。花火はうちあがったときに大きいなとかんじでした。うちあげ花火をまちかで見るとき「大きい！」「お～！」ということばをれんぱつしていました。また、きかひがあれば見にいきたいなとおもうきれいな花火でした。

■坂上 加那子さん

花火はきれいで、音が大きくてびっくりしました。つぎつぎあがる花火はとてもきれいでした。小塚さんに会えてすごうれしかった。ナショナルゲームながの大会にフロアホッケーでできるのでまた会いたいです。

ファミリーの感想

■岡畑 之江さん

「すごい！」「おお～！」コロナ禍以来、久しぶりに見る花火に感動しきりの息子でした。花火を楽しむとともに息子の喜ぶ姿を見ることができてファミリーの私もとても嬉しい気持ちになりました。花火後のボランティア活動も初めての経験でしたが、張り切って活動に取り組むアスリートたちの姿に、手助けされるばかりでなく、他の人の役に立てるのだと頼もしさを感じることができました。また、小塚さんやスタッフの皆さんには、お忙しい中、気さくに親切に接していただき、こんな素敵な方たちに SO は支えられているのだとありがたく感じました。今回このような素晴らしい花火大会にご招待いただき、本当にありがとうございました。

■丸谷 暁美さん

あれだけの素晴らしい花火のお礼としては足りなさすぎるボランティア活動、申し訳ないくらいでした。でも、アスリートたちは与えられた仕事に一生懸命、手を抜くことなく頑張っている姿に感心しました。また次も機会があれば参加したいと思います。ありがとうございました。

SON・和歌山ご担当者の感想

■中村 晶子さん

大阪湾りんくう芸術花火 2023 に鑑賞へご招待いただきありがとうございました。アスリートもファミリーも参加者みんなが、花火を見て大興奮の時間を過ごすことができました。小塚さんとも花火の前、そして Be with all 事業の一環としてのボランティア活動の後にお会いでき、冬季ナショナルゲーム参加のアスリートにエールをいただきました。アスリートも楽しくボランティア活動ができ、貴重な体験をすることができました。来年もまたよろしくお願ひいたします。

以上